

# 重要文化財旧柏倉家住宅 冬季特別公開企画

## 美術作品鑑賞会 開催!!

柏倉九左衛門家の竹次郎（後に 14 代当主となる）は、分家筋の幼馴染である柏倉喜十郎が画家をこころざし、確かな<sup>なりわい</sup>生業となるよう物心両面にわたり支援しました。喜十郎は明治 36 年頃に上京し、日本画家の川端玉章の下で画業に励み、師匠から「雪章」という画号が与えられました。

川端玉章は明治時代に活躍した日本画家で、岡倉天心（日本美術院の創設者）により東京美術学校の教師として迎えられ、後進の育成に努めました。

この度、重要文化財旧柏倉家住宅冬季特別公開にあたり、柏倉九左衛門家に遺された川端玉章の掛軸（12 幅）の鑑賞会を開催致します。

講師は日本美術院同人の日本画家番場三雄氏です。番場氏は平成 19 年と平成 24 年に日本美術院賞（大観賞）、令和 5 年に内閣総理大臣賞を受賞され、日本美術院の同人としてご活躍されています。

先生は日本画家今野忠一（天童市出身）の画風を継承されてきましたが、柏倉家一族の画家雪章の系譜にも繋がる場所があります。

重要文化財旧柏倉家住宅に遺された珠玉の作品について、番場氏の解説とともに、この鑑賞会をお楽しみ下さい。

期 日 : 令和 7 年 2 月 8 日（土）午後 2 時より  
会 場 : 重要文化財旧柏倉家住宅  
講 師 : 日本美術院同人 番場三雄氏  
内 容 : 川端玉章の掛軸（12 幅）の解説  
竹次郎と喜十郎が交わした書簡の展示  
入場料 : 大人 500 円（中学生以下無料）

